
平成 21 年「投資の日」記念イベント等の実施結果について

証券知識普及プロジェクト・平 21.11

証券知識普及プロジェクト（日本証券業協会、東京証券取引所グループ、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、ジャスダック証券取引所、投資信託協会、名証取引参加者協会の 9 団体で構成）では、平成 21 年 10 月 1 日（木）から 11 月 3 日（火）までの間、平成 21 年「投資の日」記念イベントを全国 9 地区 27 都市 36 会場で開催し、10,580 名にご参加いただいた。

本イベントの参加者アンケートの結果の概要は、下記のとおりである。（括弧書きの数値は、昨年の「証券投資の日」記念イベントのアンケート結果である。）

本プロジェクトとしては、今後も証券知識の普及・啓発活動を推進し、投資家の金融リテラシー向上と裾野拡大を図っていきたい。

記

○平成 21 年「投資の日」記念イベントの実施結果について

- 参加者の性別は、男性が 69.0%（71.9%）、女性は 31.0%（28.1%）であった。
- 年齢層は、60 代以上が 54.1%（57.4%）を占めた。
- 職業は、無職が 35.9%（39.3%）、会社員が 30.1%（27.3%）であった。
- 本プロジェクト主催のイベントにはじめて参加した人は 58.3%（60.5%）であった。
- 証券投資を現在行っている人は 79.8%（77.9%）、過去に経験はあるが現在は行っていない人は 5.2%（12.3%）、未経験者は 15.0%（9.8%）であった。
- 証券投資を現在行っていない人（未経験者を含む）の 60.7%（55.5%）が、証券投資を現在行っていない理由として「よくわからない（知識がない）」を挙げた。また、「投資に回す資金がない」との回答が 35.5%（34.7%）であった。
- 証券投資の理解を深める方法として、76.6%（79.8%）が「講座やセミナーへの参加」を挙げた。
- 証券会社や金融機関に期待することとして、65.1%（64.2%）が「迅速・的確な情報提供」を挙げた。
- 証券あっせん・相談センターについて知っている人は 28.0%（25.0%）であった。
- 未公開株式の購入に関する勧誘（DM、電話を含む）を受けたことがある人は 24.9%であった。
- 保有する株式に取得日又は取得に要した費用が不明なものがあると答えた人は 13.5%であった。
- 平成 21 年「投資の日」記念イベントに対する感想は、「大変良い」と「良い」が合計 89.0%（88.2%）であった。

(単位：名)

イベント 地区	平成 21 年「投資の日」記念イベント			最近の参加者数	
	参加者数	回答者数	回収率	平成 21 年 「春季証券投資 セミナー」	平成 20 年 「証券投資の日」 記念イベント
東京（10 会場）	3,316	2,052	61.9%	3,294	2,215
大阪（6 会場）	2,097	1,393	66.4%	2,087	1,762
名古屋（5 会場）	1,927	1,241	64.4%	1,257	1,166
北海道（2 会場）	625	330	52.8%	372	403
東北（2 会場）	523	328	62.7%	242	442
北陸	330	191	57.9%	490	320
中国（5 会場）	857	759	88.6%	655	624
四国（2 会場）	352	288	81.8%	254	395
九州（3 会場）	553	409	74.0%	396	552
合 計	10,580	6,991	66.1%	9,047	7,879

○ 平成 21 年「投資の日」キャンペーンの実施結果について

一人でも多くの一般消費者の方に証券投資への興味・関心をもっていただき、証券投資の意義や証券知識の習得の重要性について考えていただくことを目的として、新聞広告やインターネットにおいて証券投資に関する基礎的な知識を問うクイズや証券投資に関するアンケートを行い、回答者の中から抽選で証券知識の向上に資する刊行物及び賞品を進呈するキャンペーンを 10 月 1 日から 11 月 5 日にかけて展開し、全国から 46,614 名の申込みがあった。

以 上